

論文審査の要旨
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (学術)	氏名 Author	庄 瑜
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論 文 題 目 現代中国の高等教育における愛国者育成に関する研究 —大陸外中国人の学生に焦点を当てて—			
論文審査担当者 Dissertation Committee Member			
主 査 Committee Chair	日下部 達哉 准教授		印 Seal
審査委員 Committee	吉田 和浩 教授		
審査委員 Committee	石田 洋子 教授		
審査委員 Committee	堀田 泰司 教授		
審査委員 Committee	南部 広孝 京都大学大学院教育学研究科教授		
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本研究は、現代中国における大陸外中国人（香港・マカオ・華僑）の愛国心育成のための高等教育の取り組みに焦点を当て、その背景としての史的検討、次に政策形成過程、実践のあり方、最後に愛国心教育の実践が、大陸外中国人の学生の中国観をいかに変容させたか、明らかにしようとしたものである。</p> <p>本研究は全6章で構成されている。序章においては本研究の目的、先行研究と問題の所在、研究の意義、構成について述べた。第1章では、中国大陸と大陸外におけるナショナリズム形成の政治的動きと、それがもたらした「公定愛国者像」の大陸と大陸外の分岐のあり方に言及した。第2章では、中国高等教育の歴史的展開として、政府がいかに大陸外中国人の大陸の大学への入学に際し、募集ルートが多様化、奨学金の充実、環境整備を行い、大陸外中国人を大陸に呼び寄せようとしてきたか描写した。第3章は、事例として広東省暨南大学と福建省華僑大学をとりあげ、大陸外中国人へ向けた思想教育カリキュラムの内実を分析し、政治性を希薄化させ、中国の歴史や文化を主軸とした、愛国心の柔軟な育成方法を浮き彫りにした。第4章では、こうした教育実践に対する大陸外中国人における実際の反応を、中国観の変化という観点から明らかにし、出身地の時代から抱いていた中国観と、大陸に来てから変化した中国観との間には融合と相克があることが明らかになった。終章では、この愛国心の柔軟な育成方法が機能している側面を述べるとともに、引続き教科書改訂なども進め、大陸外中国人の愛国心をより大陸側に寄せようとしている政府の姿勢も描いた。</p> <p>本研究は、以下の諸点が独創性の高い点として評価された。(1)通常明らかにすることが困難な、大陸外中国人の愛国心という研究課題にアプローチし、これまで香港が中心的であった研究対象にマカオと華僑を加え、ホリスティックな視点を提供したこと、(2)実際の愛国者育成教育実践が機能しているかについて調査、実際に大陸外中国人が中国観を変化させていたことを、フィールドレベルで明らかにしたこと、の2点である。</p> <p>なお、申請者はこれまで、査読つき論文3編、国際会議発表2編、国内学会発表4編を公表した。以上、審査の結果、本論文の著者は博士（学術）の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。</p>			